

半田市議会議員

こいで よしかず の

市政あれこれ



50

# 6月の市長選挙に向けて!!



発行日 令和3年1月20日  
事務所〒475-0828 半田市瑞穂町5-3-18  
連絡所〒475-0078 半田市新池町2-201-22

まちの未来を考える機会として…

半田市では、本年6月に市長選挙が行なわれます。現職は今期限りの引退を表明しており、新たな市長を選ぶことに成ります。選挙は4年に一度、まちの将来像を考える大切な機会です。まちづくりの様々な政策や理念が必要とされているのかを、この機会に考えていきたいと思います。

高齢化率35%への備えが必要…

国の人口問題研究所の推計によれば、2045年の半田市は、人口9万4千人、高齢化率35%です。現在より労働人口が1万6千人減、子どもが4千人以上の減となります。その一方で、高齢者は5千人増との内容です。

人口の減少は、税収減と行政サービスの低下を意味します。推計通りの将来には、深刻な現実が待っていることに成ります。この推計値を受け止め、的確な対策が必要です。既に、始まっている取り組みを確認しながら、課題の整理をしてみます。

## 1 雇用創出による人口減少対策!

半田市の人口は、2010年から減少に入りました。原因は、子どもの数の減少ですが、現状は転入者の増加により12万人に回復しています。「コロナの影響で足踏み状態ですが、雇用創出が人口減少の解決策の一つになっています。転入者の中心は30代ですが、大半が単身者です。家族での転入を妨げている要因の解消が課題のひとつです。

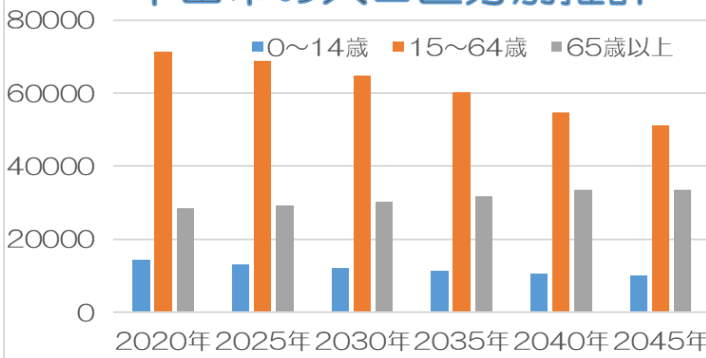
## 2 子育て支援で出生数の上昇を

家族での転入が少ない要因は、子育てに必要な施策の遅れではないかと思えます。核家族化などの家庭環境の変化に、行政サービスが追付いていません。「休日保育の実施状況」「学童の保育料」などで周辺自治体と格差があります。子育て環境の改善こそが、出生数向上に繋がる施策です。子育てし易い環境づくりも重要課題です。

## 3 多文化共生による定住促進

転入者の中に、外国人も多く含まれています。既に、4千人以上の外国籍の方々が半田市に暮らしています。転入目的や在留資格は様々ですが、定住を希望する方も多くいます。言語や習慣の問題以外に、子どもの教育・進学・就職など多岐に亘った支援が求められています。人手不足を補う労働力としての扱いでなく、まちづくりのパートナーとして接することが必要でこれも課題です。

半田市の人口区分別推計

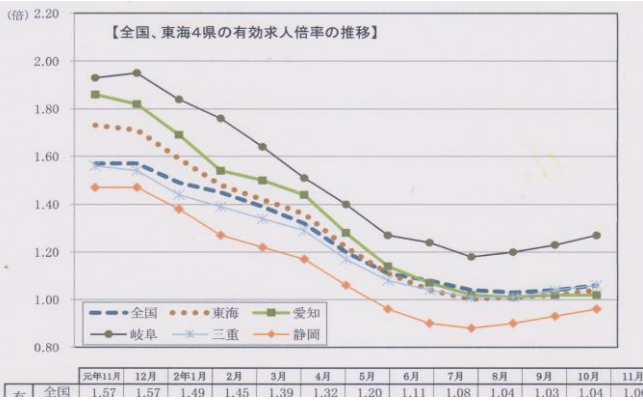


## 4 高齢化対策として地域交通を

高齢化は止める事が出来ません。出来ることは、高齢者の健康維持です。その対策のひとつに、外出サポートとしての地域の公共交通整備があげられます。「こくなるバス」が運行を開始して、2年程がたちます。また、空白地域をカバーするために地域循環バスの運行計画も進められています。地域によって格差がないよう取組んでいくことも大切な課題だと思えます。

## 5 「コロナ禍の影響」に配慮を

「コロナ禍で、打撃をこう受けている方が多く見えます。厚生労働省は、この影響を受けた解雇や雇い止めは、累計で七万九千六百八人になったと報告しています。製造業や飲食業が中心で、非正規労働者が全体の約半数を占めているようです。左上は、東海3県の有効求人倍率の推移ですが、このグラフからも厳しい状況にあることがわかります。適切な支援を届けることが課題です。



## 6 多くの課題をバランスよく

この他の課題もあります。全体感をもって取組むことが重要です。「偏らない公平感」と言い換えた方が良いかもしれません。市長の素養として、この感覚が大切だと思えます。そしてその課題を、多くの方と共有して前に進めるリーダーシップが最重要です。「耳障りの良い公約」より、何が必要かを見極めることだと思います。

# 南吉を活かした街づくりを.. その2



提供：新美南吉記念館

市民に親しまれる顕彰活動を…  
 童話作家の記念館は、全国に5つあります。「南吉記念館」のようには、「童話賞」「企画展」「研究紀要発行」などをしているのは、「宮沢賢治記念館」のみです。「南吉記念館」は、貴重な財産です。  
 南吉作品の特徴と魅力は、「物語性の豊かさ」「描写力・表現力の確かさ」「郷土性の豊かさ」にあります。「新美南吉作品」に触れる機会を作ることが財産の有効活用です。「ブックスタート」「読み聞かせ」「集団読書」などがその機会になるよう、「南吉を活かしたまちづくり」を進めてまいります。



矢勝川の彼岸花

**矢勝川の彼岸花植栽活動の支援も**  
 矢勝川に彼岸花を植える活動は、平成2年から始まり、30年間で300万本を植えました。矢勝川に「南吉童話の世界」を作ろうとした小栗大蔵さんの思いに多くの方が賛同していただいた結果であり半田の誇りです。近年この活動の継承が課題となっています。この市民活動へ支援も、顕彰活動の一環だと考えています。

ホームページもご覧下さい



<https://koide-handa.com/>  
<https://koide-ha.com/>

ご意見などお寄せ下さい。Tel&fax:0569-58-0967 mail:y-koide@cac-net.ne.jp